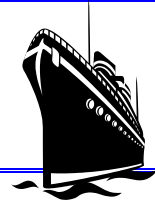


MSI Marine News

トピックス

●海上保険の総合情報サイト **MARINEN@vi** もぜひ、ご覧ください。(http://www.ms-ins.com/marine_navi/)



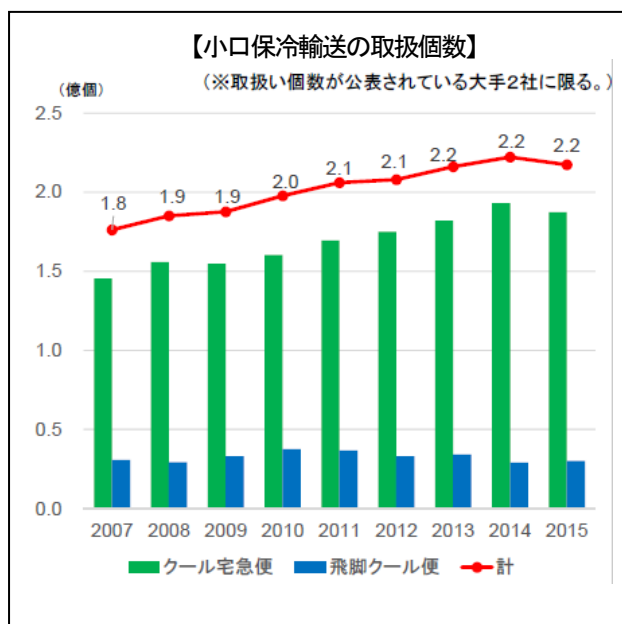
小口保冷輸送に関する国際規格について

近年、電子商取引（EC）市場の拡大に伴い、生鮮食品等を消費者へ輸送する小口保冷輸送の需要が各国で高まっています。一方、一部の国の事業者による不十分な温度管理等、輸送品質には課題があるとされています。小口保冷輸送に関する市場拡大および日本の物流事業者の国際競争力を強化するために、官民一体となって日本の高品質な物流サービスの国際標準化に向けた取組が行われています。本稿では、2017年2月に発行された世界初の小口保冷輸送サービスに関する国際規格「PAS1018」の概要および現在の取組状況についてご紹介します。

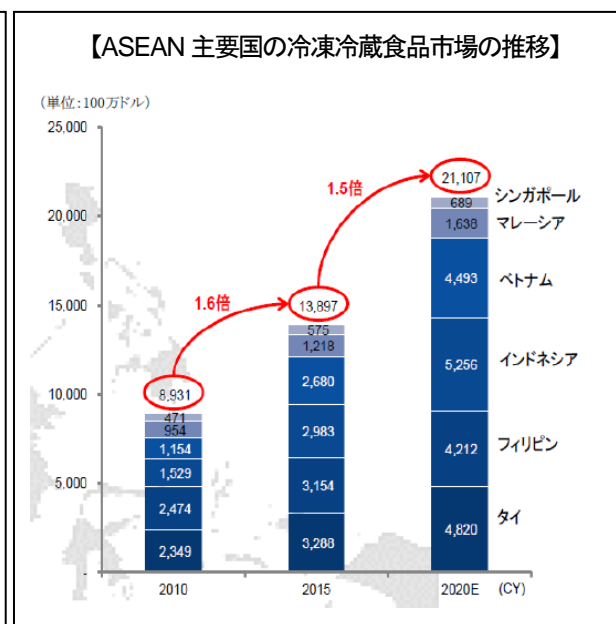
1. 小口保冷輸送を取り巻く状況

国土交通省の調べによると、小口保冷輸送の取扱個数は2007年の1.8億個から2015年には2.2億個に拡大しています。さらに、ASEAN主要国では所得水準の上昇によってECの普及等の消費形態の変化および冷凍冷蔵食品市場の拡大が見込まれています。しかしながら、一部では不十分な温度管理により品質劣化が生じるなど粗悪なサービスが散見されており、保冷配送サービスに対する消費者の信頼性欠如が市場拡大を阻害することが懸念されています。

かかる状況下、政府は2017年7月に閣議決定した「総物流施策大綱（2017年度～2020年度）」において、高まるアジア諸国の物流需要を取り込むために、日本の高品質なコールドチェーン物流サービス等の国際標準化や普及を重要施策の一つとして位置づけています。



【出典】国土交通省ホームページ



【出典】MIZUHO Research & Analysis No.12

2. 国際規格 PAS1018 について

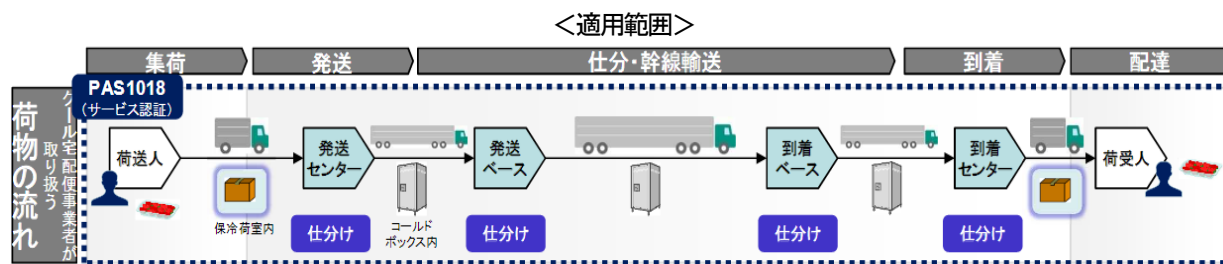
PASとは、Publicly Available Specification（公開仕様書）の略であり、国際規格策定機関である英国規格協会（BSI）が発行する国際規格です。

国土交通省は2015年に「我が国物流システムの国際標準化等の推進に関する連絡検討会」を設置し、日本の物流システムの規格化・国際標準化を推進しており、小口保冷輸送に関しても同検討会にて議論を行っています。国内の物流事業者や海外の業界団体等が、調査および協議を重ねた結果、2017年2月にBSIの日本法人であるBSIジャパンによりPAS1018が発行されました。PASの認証取得により、サービスや技術の質の向上等様々なメリットを得られます。

<内容>

PAS 1018 は、保冷車両を用いた保冷配送サービスのうち、途中で荷物を積み替える輸送形式のサービスを対象にしたものです。車両に搭載されている保冷库などの空間の温度管理を軸とし、配送中の積み替え作業に関する要求事項を規定しており、主な内容は以下の通りです。

- ・ 保冷配送サービスの概要設計
- ・ 輸送ネットワークの整備
- ・ 保冷荷物の取り扱い
- ・ 事業所、保冷車両、保冷库、冷却剤の条件
- ・ 作業指示書とマニュアル
- ・ スタッフへのトレーニング
- ・ 保冷配送サービスのチェックと改善



【出典】国土交通省ホームページ

3. PAS1018 の ISO 規格化に向けた取組み

政府は日 ASEAN 交通連携の枠組みにおける 2 国間・多国間政府対話等を活用し、PAS1018 の ASEAN 地域への普及を目指すとともに、PAS 以上の認知度・信頼性を有し、より上位の国際規格である ISO 規格化を目指しています。

これまで、政府は太平洋地域標準会議^(注)等を通じて海外の標準化機関との連携を図るとともに、日 ASEAN の物流政策対話等の場を活用し、各国の物流関係省庁、専門家との連携を図る等の取組みを行ってきました。その結果、2018 年 1 月には日本からの提案により国際標準化機構において、小口保冷輸送に関する国際規格開発に向けたプロジェクト委員会の設立が承認されました。

プロジェクト委員会の第 1 回国際会議は 2018 年 6 月頃に日本で開催され、国際標準化機構での ISO 規格の開発が本格的に始動する予定です。

(注) ISO 活動における環太平洋地域の連携強化等を目的として設立された会議で米国をはじめ計 23 カ国が参加しています。

4. まとめ

小口保冷輸送の品質・サービスレベルの向上に向けて、PAS1018 が国内外に浸透し、高品質な小口保冷輸送サービスが展開されることは、日本の輸出食品等に対する消費者の信頼を得ることにつながると考えられます。さらに、日本主導により ISO 規格が開発されることにより、日本発の高品質なサービスレベルが各国へ輸出され、小口保冷輸送サービスにおいて、日本が大きなプレゼンスを発揮し、他国と比較し優位な立場に立つことが期待されます。

<参考文献一覧>

国土交通省ホームページ：http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000369.html

農林水産省ホームページ：<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kaigai/170210.html>

BSI グループジャパン株式会社ホームページ：<https://www.bsigroup.com/ja-JP/>

以上